



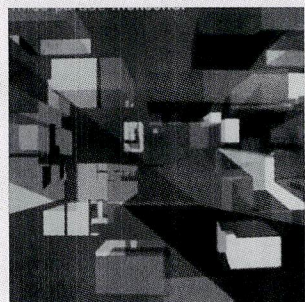
flow / Nabowa

DQC-63 megle / bud music inc. 2415円

ジャムやロック、ジャズ、ダブ、ダンス etc. と聴こえてくる音色はあくまでポップ。かつ心地良い。ROVO や SPECIAL OTHERS を引き合いに出すまでもなく音楽ファンは必須で、「音楽聴きたいけど何買えばいいのか…」な人にも余裕でオススメの好盤。



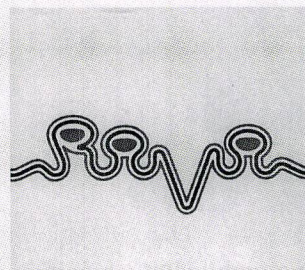
取材・文 / 中谷琢弥 撮影 / 中尾写真事務所



Mokoondi / Mice Parade

Fatcat 2520円

ディラン・グループやHIMでも叩くポストロック界きってのドラマー、アダム・ピアーズのソロユニットによる3rd。「僕の中では究極の癒し音楽!」このステレオ感がたまらない(川上)。すべての音楽好きに贈りたい1枚



Imago / ROVO

dohb discs / SONY MUSIC 3262円

元ポアダムスの山本精一と、浜さくらなどで活躍する鬼オヴァイオリニスト勝井祐二が率いるROVO。こそがスペイシー・ジャムの先駆けとなったバンド。「今でもよく聴くザ・お手本な1枚。するめのようなCDです」(景山)



Birds Of Fire / Mahavishnu Orchestra

Legacy Recordings 1835円

72年発表。ジャズロックの金字塔ともいえるべきアルバム。ヴァイオリンをフロントに持ち込んだグループとしても Nabowa に通じるところ。「僕らをより強烈かつ黒くした感じ。変拍子具合が気持ち良すぎる!」(堀川)

recommended 01

recommended 02

recommended 03

Nabowa ナボワ

'04年、山本啓 (Vi)、景山奏 (G)、川上優 (Per) の三人で京都にて活動をスタート、'06年に堀川達 (B) が加入し現在の形に。これまでに LITTLE TEMPO や GOMA、BREATH MARKらと共演、'06年には「大風流 (＠京都市役所前)」にも出演。今回の1st アルバムで一気に話題沸騰必至の、心潤す京都の大衆音楽団。

<http://www.budmusic.org/>

【LIVE INFORMATION】

- RELEASE PARTY ■5.9 (Fri) METRO
- OPEN / START 22:00~
- 前売 2500円 (1ドリンク) 当日 3000円 (1ドリンク)
- 問い合わせ 075-752-4765 (METRO)
- SPECIAL LIVE:Nabowa with KND & Chizuru Ohmae
- DJ:ALTZ / Kentaro Iwaki / Ban
- LIVE:Kuniyuki Takahashi SPACE:mind-bending

PPS

POWER PLAY SOUND

Music is moistened our life. Tasteful album is here. We'd like to find your recommended one.

「聞こえてくる」から「聴く」へ その瞬間に、立ち会えるのは、いま

'04~'05年頃、鴨川や京都高島屋前あたりのストリートで、ヴァイオリン、ジャンベ、ギター(その頃はまだベースは加入前だった)という編成で肌触りのいい、浮遊感あるジャム・セッションを繰り広げていたバンドをご存じないだろうか? Nabowa のスタートは路上ライブだったのだ。

「路上だというんなら人に聞いてもらえるのがおもしろくて。(聴き手を) 限定しないじゃないですか」(景山)

「聞こえる」から「聴く」に変化する瞬間に立ち会えるのは、ストリートならではの醍醐味かもしれない。しかし彼らは前者でもいいと言う。なんなら寝転んでくれるくらいでもいい、と。

「押し付けがましくない音楽をやりたくて。自然体というか。でも、(ジャムにしろダブにしろハウスにしろ) ひとつのシーンに深く寄っていったバンドではないので、バランスは大切にします」(川上)

その場その場の空気や時間に溶け込んでいく柔軟で自由な音楽だからこそ、カフェにもクラブにも野外フェスにも、見事にハマるのだ。なかでも印象的だったと話してくれたのは、昨年9月に京都の最北端、久美浜町で行

なわれた、地域のお年寄りや子供たちを対象としたイベントに招かれたときのこと。

「ライブの前に、気軽に音楽と一緒に楽しめるようになってワークショップをやったんですよ」(山本)

「実際にペットボトルで、いくつか違ったパターンのリズムを叩いてもらって、そのアンサンブルを楽しむ、というようなことをやって、200人くらいで。そうすると、ヨボヨボのおばあちゃんから子供まで、みんなその後のライブも楽しんでもらえたみたい。それを見て僕らも嬉しくなって」(川上)

彼らの魅力、それを可能性と言い換えてもいいけれど、を物語る出来事だろう。その一方で昨年10月、今年4月と立て続けにリリースされた3枚の先行アナログは ALTZ や Kentaro Iwaki、YOGURTらをリミキサーに迎えたことも相まって、クラブ・シーンから熱烈に歓迎されているというもまた事実で。

…といろいろ書いてきたが、「ただ、いい音楽をやりたい」(山本) というシンプルかつ真直ぐな言葉に、すべては集約されるのだ。だからその音色に触れてほしい。きっと日常や思い出が彩られるようになるから。